

新「道の駅むらやま」整備  
基本計画検討市民会議

【第1回検討会】

2022.7.14 15:00  
甕葉ホール

# I. 新「道の駅むらやま」整備基本計画検討市民会議について

## 1. 目的

新「道の駅むらやま」整備基本計画を策定するにあたり、新「道の駅むらやま」整備基本計画検討市民会議を設置し広く市民の意見を反映させる。

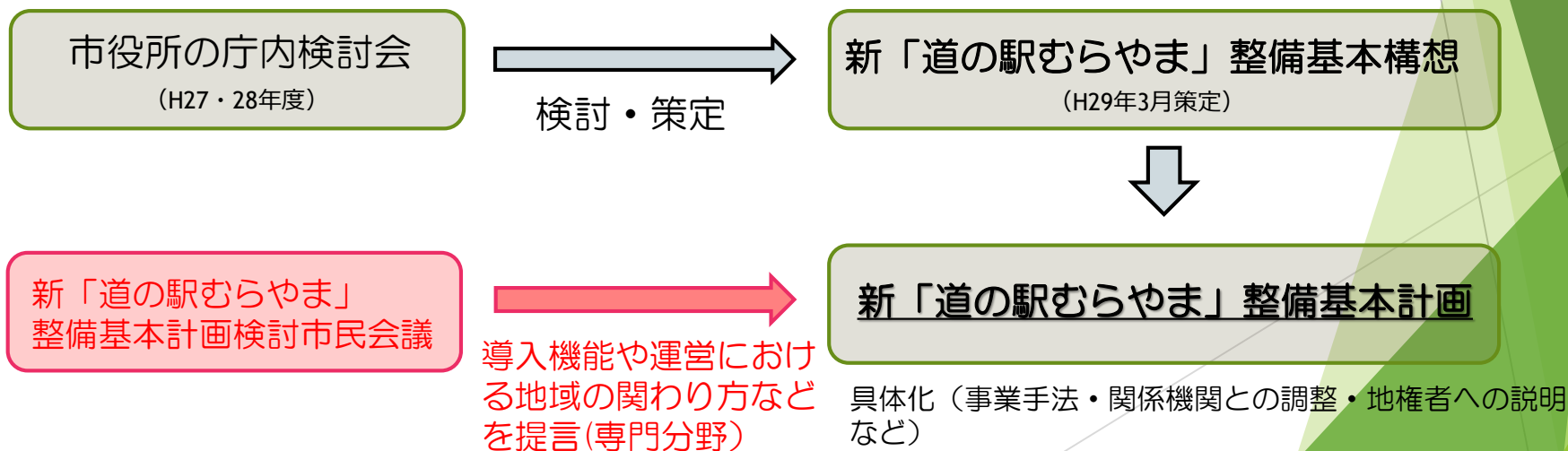
※基本計画とは

平成29年に村山市が策定した『基本構想』をもとに取り入れる機能や整備などの方針等を示すより具体的な計画

## 2. 設置期間

令和4年7月14日から令和6年3月31日まで（約1年8ヶ月）

## 3. 位置づけ



## Ⅱ. 新「道の駅むらやま」整備基本構想の歩み

### 1. 庁内検討会設立の背景→基本構想を策定する庁内P T

平成27年に策定した第5次村山市総合計画に基づき、『次の世代へ引き継ぐ魅力ある村山市を創る』を基本理念に掲げています。この中でも駅西エリアは市街地に隣接し、村山ICや国道13号及びJR村山駅に大変近く東北中央自動車道の開通に合わせてICから直接アクセスできる道路（駅西中央線）を整備し、高速道路のストック効果を最大限に発揮できるエリアとして商業や流通団地としての整備や施設の建築など魅力あるまちづくりを推進しております。しかし東北中央自動車道の開通後における国道13号の交通量が6割程度に減少すると予測されることから現在の「道の駅むらやま」の利用者数の減少とそれに伴う売り上げ減少が懸念されます。

そこで市は、新たに地方創生の核となる施設の一つとして、駅西エリアを含む地理的条件が良好な場所を移転先とした新「道の駅むらやま」について庁内検討することとなりました。

※東北中央自動車道村山市区間の開通は令和4年中（国土交通省）

### 2. 検討事項の明確化→P Tが検討する作業の内容

新たな「道の駅」を整備する場合の①「道の駅」の整備位置、②「むらやまらしい」基本機能の整備方針、③当該「道の駅」の独自性等を明確化することが必要。

①基本機能の整備方針



①新施設の**コンセプト**…構想P5

②新施設の**基本方針**…構想P6

③新施設に導入する**機能**…構想P7

②独自性等の明確化



④村山市**独自の機能**を検討

### Ⅲ. 基本方針について

「基本方針」構想 P 6

～整備コンセプトを補完・具体化し、新たな施設計画の方向性を示す指標～

現在の村山市が持つ『魅力』と『課題』



『内部要素』  
「強み」と「弱み」

東北中央自動車道の延伸がもたらす影響



『外部要因』  
「機会（チャンス）」と  
「脅威（リスク）」

今の村山市に適した今の村山市に必要な新施設の基本方針を検討しました。

# ○基本方針

<p>【村山市の将来像】</p> <p>村山市の基本理念(第5次総合計画より) ～次の世代へ引き継ぐ 魅力ある村山市を創る～</p> <p>【新】道の駅の基本コンセプト 『おいしい山形』の交通・観光・交流の 拠点としていつでも(Everyday)だれでも (Everybody)楽しめる(Enjoy) あんばい・い・い 道の駅 むらやま</p>	<p>村山市の内部要素</p>	
	<p>【強み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最上川、葉山、甌岳、田園等の豊かな景観</li> <li>2. パラ公園、基点温泉、そば街道、舟下り等の魅力ある観光</li> <li>3. 日本酒、そば、じゅんさい、漬物、果物等のおいしい特産品</li> <li>4. 居合神社、徳内まつり、熊野神社、大わらじ等の伝統文化</li> <li>5. R13、R48、山形空港、新幹線停車駅等の交通網の利便性</li> </ol>	<p>【弱み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働く場所、企業が少ない</li> <li>2. 家を建てたくなくなるような良好な住宅地が無い</li> <li>3. 定住人口の減少と、少子高齢化の急速な進行</li> <li>4. 遊びに行きたくなるような魅力ある施設が少ない</li> <li>5. 担い手不足などによる農林業の低迷</li> <li>6. 冬期間の降雪が多く、除雪の負担が大きい</li> </ol>
<p>村山市の外部要因 ・東北中央自動車道の延伸 ・村山IC設置</p>	<p>【強み×機会】</p> <p>東北中央自動車道の延伸を機会として捉え、市の強みを活かしながら将来像の実現を目指します。</p> <p>■基本方針1：市の多様な魅力を積極的に発信、提供します。 東北中央自動車道の延伸を期に、集客規模の拡大と村山市の知名度の向上に向け、地場産業をはじめ観光やレジャー、郷土料理などの旬な情報を積極的に発信、提供します。</p> <p>■基本方針2：外国人観光客の受け入れ態勢を充実させます。 宗教や国籍、人種、身上にとらわれないユニバーサルデザインを徹底し、積極的に市の伝統文化を発信し、外国人観光客を受け入れます。</p> <p>■基本方針3：道路ネットワークの主要施設化を目指します。 山形空港、新幹線、村山IC、R13、R48の地の利を活かし、それぞれを通過・利用する交通者の主要な休憩・立寄り施設としてポジションを確立させます。</p>	<p>【弱み×機会】</p> <p>東北中央自動車道の延伸を機会として捉え、市の弱みの克服、解消緩和を図ります。</p> <p>■基本方針6：市民の身近な雇用・就業・生きがい機会を拡大します。 交流人口の増加による各種地場産業への波及効果を期待しながら新たに整備する産業関連施設として高齢者をはじめ、女性や若年層子育て世代など市内で暮らすあらゆる就業者に対する身近な雇用・就業・生きがいの場としての機能確保を図ります</p> <p>■基本方針7：地場特産品のブランド力の強化を図ります。 地場産業、イベント、郷土文化に至る多様且つ旬な情報を発信し、特産品のブランド化とブランド力の強化を図ります</p> <p>■基本方針8：定住人口の拡大を目指します。 交流人口の拡大を機会に、良好な住宅地の紹介、子育て支援などの情報を積極的に発信し、定住人口の拡大を目指します。</p>
	<p>【強み×脅威】</p> <p>東北中央自動車道の延伸を脅威として捉え、市の強みを活かしながら克服、解消、緩和を図ります。</p> <p>■基本方針4：地元関係者を中心にふれあい機能を充実させます 外国人観光客をはじめとする広域的な来場者だけでなく、地元特産品の生産者と消費者と新旧住民、異世代間等の多様な来場者の固定客化、リピーター化に向け、地元関係者を中心とした出会い・ふれあいの場としての機能を充実させます。</p> <p>■基本方針5：地域固有資源として新たな魅力付けを図ります。 市民としての誇りや地域への愛着などの向上に向け、新たな公共施設として地域的な役割や空間的な意匠、景観。料理、イベント等、様々な面において市に不可欠な固有施設として確立させ、他の市町村との差別化を図ります。</p>	<p>【弱み×脅威】</p> <p>東北中央自動車道の延伸を脅威として捉え、市の弱みの抑制を図ります。</p> <p>■基本方針9：自然的な環境と景観との調和を図ります。 高速道路交通量の増加の悪影響を見据え、自然環境や郷土的景観の保全を図ります。また自然環境負荷の軽減・抑制策として積極的に自然エネルギーの導入を図り、環境都市村山と呼べるにふさわしい先鋭的な設備、機能を有した施設づくりを目指します。</p> <p>■基本方針10：オール村山市で取り組みます。 市の将来像の実現に向け、各種特産品生産者や事業所はもとより、NPO法人やボランティア団体、青年会議所、老人クラブ等の市民団体、農業協同組合、商工会、観光物産協会等の多様な団体によるオール村山市体制での取り組みを目指します。</p>
<p>【脅威（リスク）】</p> <p>■定住者や消費者などの市外流出の誘発、増長</p> <p>■周辺市町村との競争の激化</p> <p>■自動車(通過のみ)交通量の増大 ・国道13号線の交通量の減少 ・沿道居住、農業生産環境の阻害(騒音、粉塵、振動など)</p> <p>■景観の阻害 ・高速道路による眺望阻害 ・田園風景にそぐわない道路</p>		

# ○導入機能

村山市が目指す道の駅のイメージ

- ・道路交通情報
- ・総合観光案内
- ・イベント開催 など

情報発信機能

- ・急速充電機
- ・災害用自家発電
- ・ヘリポート など

防災機能



休憩機能

地域連携機能

- ・24時間トイレ
- ・フードコート
- ・カフェ
- ・子供の遊び場
- ・自販機コーナー など

- ・農産物直売所
- ・特産品販売
- ・出店、テナント など

『**休憩機能**』と『**地域連携機能**』をメインにした道の駅づくりが望ましい。

## IV. 今後のスケジュールについて

### 令和4年度スケジュール

- |         |  |
|---------|--|
| 第1回市民会議 | ＜令和4年7月14日＞<br>甕葉プラザ 甕葉ホール                 |
| 第2回市民会議 | 先進地視察 ＜令和4年8月3日予定＞<br>福島県内（道の駅ふくしま・道の駅猪苗代） |
| 第3回市民会議 | 検討会議 ＜令和4年9月中旬予定＞<br>村山市役所 会議室             |
| 第4回市民会議 | 検討会議（ブラッシュアップ） ＜令和4年11月上旬＞<br>村山市役所 会議室    |
| 第5回市民会議 | 検討会議（集約） ＜令和4年12月中旬＞<br>村山市役所              |

## V. 新「道の駅むらやま」整備の事業実施フロー

### □企画立案・設計・工事

ア)基本構想策定 平成29年度完成

市民委員会の意見として市民の声を反映させる



イ)基本計画策定 令和4年度末～令和5年度(約1年)



ウ)実施方針の策定と公表



エ)特定事業の評価・選定・公表



オ)事業者の募集と評価



カ)事業者の選定と公表



キ)事業者との契約(設計・建設・維持管理・運営を含めた包括的契約)



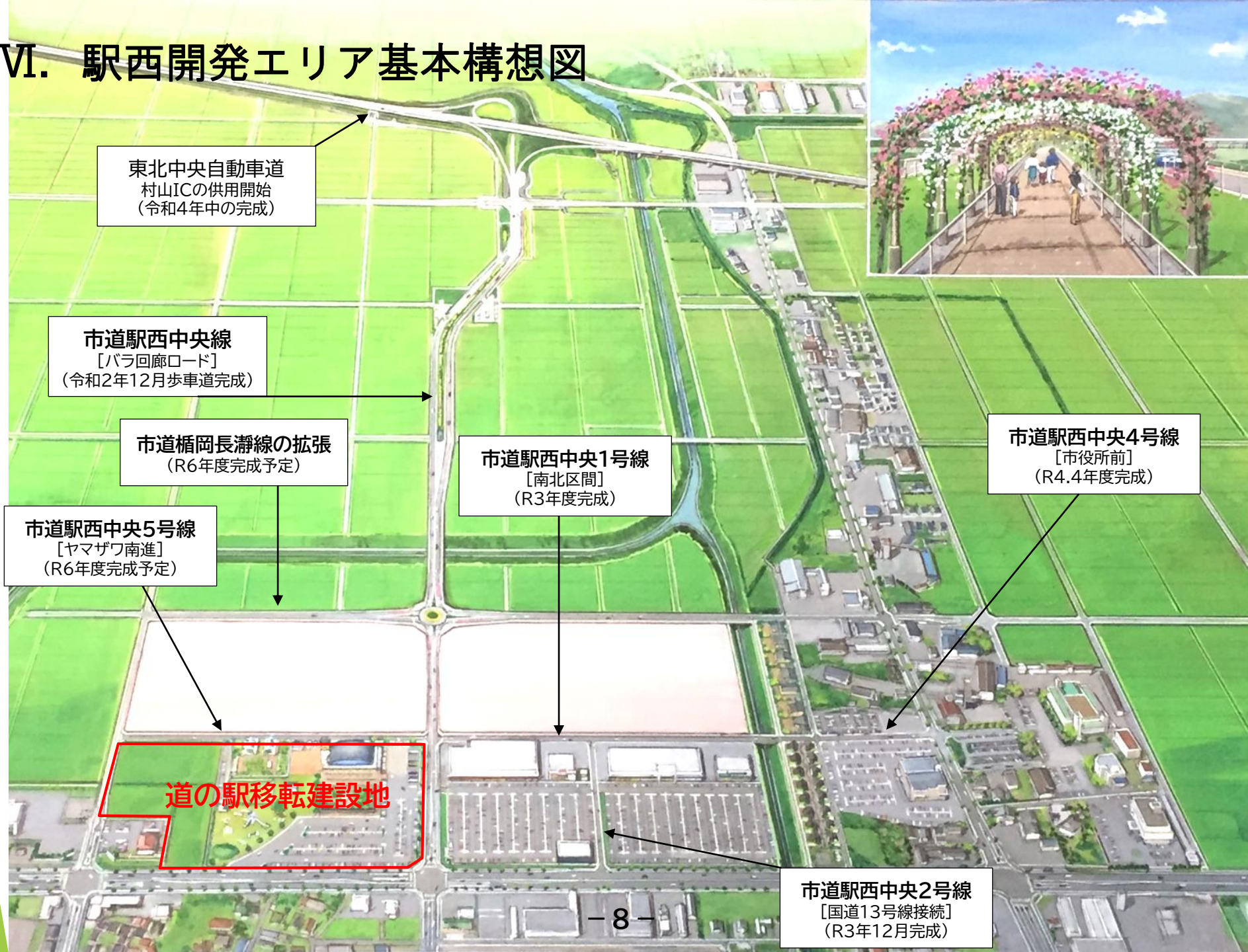
ク)事業者の設計と工事着手



□運営開始と維持管理(令和9年度を目指します) ※PPP/PFI手法による事業の場合



# VI. 駅西開発エリア基本構想図



東北中央自動車道  
村山ICの供用開始  
(令和4年中の完成)

市道駅西中央線  
[バラ回廊ロード]  
(令和2年12月歩車道完成)

市道橋岡長瀬線の拡張  
(R6年度完成予定)

市道駅西中央5号線  
[ヤマザワ南進]  
(R6年度完成予定)

道の駅移転建設地

市道駅西中央1号線  
[南北区間]  
(R3年度完成)

市道駅西中央4号線  
[市役所前]  
(R4.4年度完成)

市道駅西中央2号線  
[国道13号線接続]  
(R3年12月完成)

# VII. 新「道の駅むらやま移転予定地



道路

整備面積 約4.5ha

国道13号

ヤマザワ

至山形

至新庄

至村山駅

説明は以上です。

よろしくお願ひします

村山市まち整備課 事務局

